

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,212千円	1,212千円	1,212千円	0千円
総人件費	53,151千円	51,996千円	51,996千円	
総事業コスト	54,363千円	53,208千円	53,208千円	

事務事業名	01 スズメバチ駆除事業				指標名	蜂の駆除件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	蜂の駆除件数		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン						-	-	-	-	-	-	-						
総合戦略					実績	469件	717件	-										
個別計画					改善目標	H27年度				H28年度				その他の指標	-			
						危険性が伴うため、夜間休日をのぞき24時間以内に処理を行うことを目標とする。				危険性が伴うため安全に駆除することができるよう細心の注意を払い実施する。蜂駆除を職員自ら行うのには限界があり危険を伴うことから、専門業者への委託等を検討していく。								
根拠法令等					事業計画	市民からの連絡を受け、24時間以内に処理が行えるよう速やかに日程等調整する。駆除時間を短縮するためアイデア製品や緊急時に必要な蜂毒吸引器等の購入をする。				細心の注意を払い、安全に実施する。また、駆除する時期が主に盛夏となることから水分補給等にも心がけ実施する。蜂駆除は、職員の生命に関わる危険性の高い業務であるため、蜂駆除を専門とする民間業者への委託に向け調査等実施し検討する。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
						活動実績				上半期活動実績					事業費(A)	1,212千円	1,212千円	1,035千円
事業分類	A 任意的事業				成果	市民要望に合わせ、処理日程を調整しスムーズに対応できた。				-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員のみ					課題	蜂駆除依頼は793件(819箇所)で、うち717箇所について駆除を行った。また、102箇所については、高所や天井裏などの作業の出来ない場所であったので、専門業者を紹介した。				-				県支出金	0千円	0千円	0千円
事業の目的	スズメバチを駆除することで、市民の安全・安心を確保するため。				事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	市民からの駆除依頼に対し、直ちに現場に急行し駆除を実施する。					蜂駆除は、職員の生命に関わる危険性の高い業務であるため、蜂駆除を専門とする民間業者への委託について検討する必要がある。				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要					評価	有効性	中：適切な成果が得られている			事業の進捗状況	-			一般財源	1,212千円	1,212千円	1,035千円	0千円
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている				-			人件費(B)	22,779千円	22,284千円	22,284千円	
ISO 14001	環境 関連性					総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			-			正職員	従事割合	3.00人	3.00人	3.00人	
														時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間	
													臨時職員等	無	無	無		
													事業コスト(A+B)	23,991千円	23,496千円	23,319千円		
													H29年度当初積算根拠					
													H29年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,212千円	1,212千円	1,212千円	0千円
総人件費	53,151千円	51,996千円	51,996千円	
総事業コスト	54,363千円	53,208千円	53,208千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	02 市道の簡易補修事業				指標名	道路の簡易補修				指標種別	活動結果指標				指標の概要	道路の簡易補修				
	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	その他の指標											
戦略プラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
総合戦略	-	-	-	-	実績	260件	584件	-												
個別計画	-	H27年度				H28年度				-										
根拠法令等	-	改善目標	-				改善目標	特になし				-								
事業分類	A 任意的事业	事業計画	安全を確保しながら道路補修を実施していく。				事業計画	交通量の多い路線は、作業人員と通行車両の安全確保のため人員を配置していく。				-								
執行体制	職員のみ	活動実績	市道パトロールにより584箇所を補修し、合材420袋を使用した。				上半期活動実績	-				-								
事業の目的	市道の破損箇所の道路補修を実施し、パンクや事故等を未然に防ぎ道路の安全確保を図る。	成果	簡易な穴の補修に留め、常温合材では補修出来ない場所は、道路維持課へ依頼した。				上半期成果	-				-								
事業の概要	道路補修については、破損箇所に常温合材を投入し、歩行者や車両の安全を確保する	課題	特になし				課題	-				-								
ISO 14001 環境性	地球温暖化の防止 道路の補修をすることにより、走行が円滑になりCO2排出削減になる。	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	-										
評価	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				-									
	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				-									
	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				-									
事業実施コスト													H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初				
事業費(A)													0千円	0千円	49千円	0千円				
国庫支出金													0千円	0千円	0千円	0千円				
県支出金													0千円	0千円	0千円	0千円				
地方債													0千円	0千円	0千円	0千円				
その他特財													0千円	0千円	0千円	0千円				
一般財源													0千円	0千円	49千円	0千円				
人件費(B)													22,779千円	22,284千円	22,284千円					
正職員													従事割合	3.00人	3.00人	3.00人				
時間外勤務													0.00時間	0.00時間	0.00時間					
臨時職員等													無	無	無					
事業コスト(A+B)													22,779千円	22,284千円	22,333千円					
H29年度当初積算根拠													-							
H29年度当初積算根拠													-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	1,212千円	1,212千円	1,212千円	0千円
総人件費	53,151千円	51,996千円	51,996千円	
総事業コスト	54,363千円	53,208千円	53,208千円	

部等名	課等名	係等名
総務部	すぐ対応室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	08	18	すぐ対応室に要する経費

事務事業名	03	市民からの要望等への対応(道路スズメバチ以外)	指標名				指標種別				活動結果指標				指標の概要
			蜂以外の対応件数												
戦略プラン	-	-	-	-	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度			蜂以外の対応件数	
実績	-	-	-	-	-	95件	82件	-	-	-	-				
総合戦略	-	-	-	-	H27年度				H28年度				その他の指標	-	
改善目標	-	-	-	-	-				特になし						
個別計画	-	-	-	-											
事業計画	-	-	-	-	現地を確認し、関係各課との協力を得ながら処理できるものは速やかに区分し実施する。				通報のあった場所の状況を確認し、処理できるものと担当課へ依頼するものを速やかに区別し実施する。						
事業分類	A 任意的事業														
執行体制	職員のみ														
事業の目的	通学路や市道の歩道・交差点などの除草作業を行い、歩行者や通行車両の見通しを確保し、通行者の安全を確保する。				活動実績				電子メールや電話等により、苦情や依頼は82件あったが、78件は関係各課に依頼し4ヵ所の除草や側溝清掃を行った。						
事業の概要	通学路等の除草作業を行う。				成果				除草作業 枝払い U字溝清掃						
					課題				特になし						
					事業の進捗状況		達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	目標の進捗状況	-	
ISO 14001	-	-	-	-	有効性	中：適切な成果が得られている				有効性	-				
環境	-	-	-	-	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
関連性	-	-	-	-	総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				
													H29年度当初積算根拠	-	
													H29年度の方向性	-	
													理由	-	